

森林環境譲与税 ご担当者の皆様へ

平素より、東京の木 多摩産材をはじめ国産木材の利用推進についてご理解及びご協力をいただき誠にありがとうございます。

“Wood Letter Ψ moku推し Ψ”もおかげさまで50回目の発行をすることが出来ました。これからも引き続き皆様に有益な情報をお伝えできるよう、紙面の充実を図ってまいります。

日本選手たちの素晴らしい活躍で盛り上がったパリオリンピックが終わり、今週からはパリオリンピックが始まりました。まだまだ寝不足が続きます。連日厳しい真夏日が続いていますので、皆様には熱中症に十分ご注意ください体調管理にお気を付けください。

ということで“Wood Letter Ψ moku推し Ψ”vol.50をお届けします。ぜひともご参照いただき、貴団体内の関係する部署にも転送いただくなどご協力をお願いします。

：森づくり推進担当一同：



JAPAN ReWOOD（東京ビッグサイト）

（１）令和6年度第1回「自治体職員 多摩産材流通現場等見学会」

8月16日に森林環境譲与税ご担当者様にメールでご案内したとおり、多摩産材の伐採現場や製材工場等木材流通過程を見学する「多摩産材流通現場等見学会」を開催いたします。募集定員は20名で締切は9月6日（金）としています。東京の森林・林業を知ってもらい、多摩地域の森林整備や多摩産材活用推進の契機とすることを目的としていますので、皆様の積極的なご参加をお願いします。

申込先メールアドレス：S0000488@section.metro.tokyo.jp

第1回（9月25日水曜日）

9時30分（JR五日市線 武蔵五日市駅 集合）～16時20分（JR五日市線 武蔵五日市駅 解散）

<見学予定場所>

- ①檜原村伐採現場（伐採現場見学）
- ②多摩木材センター（原木市場 原木市見学）
- ③秋川渓谷瀬音の湯（多摩産材利用施設見学）
- ④中嶋材木店（製材所見学）

昨年の見学会の様子



※第2回の見学会は11月15日を予定しています。10月にご案内の予定です。

（２）令和5年度 森林環境譲与税 区市町村 決算調査

本年6月に依頼しました、令和5年度森林環境譲与税の決算調査について、ご回答及び事例作成にご協力いただき誠にありがとうございました。調査結果は林野庁よりフィードバックがありましたら、改めまして共有させていただきます。

(3) 令和5年度 区市町村 木材使用実績 調査結果

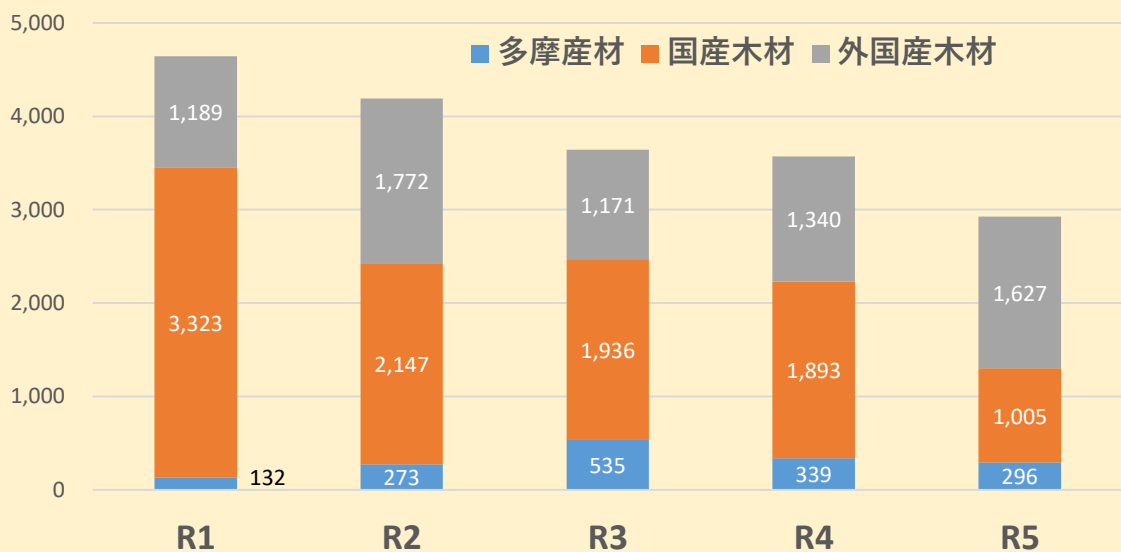
- 都では、東京都建設リサイクルガイドライン（第9章第2の4(2)）及び東京都公共建築物等における多摩産材等利用推進方針及び同方針の運用等に基づき、都内自治体の木材使用について、毎年調査をしています。今年度も本調査にご協力いただき誠にありがとうございました。皆様からいただいた調査結果をご紹介します。

令和5年度 木材使用実績調査 調査結果

単位：m³

区分	R1	R2	R3	R4	R5
多摩産材	132	273	535	339	296
国産木材	3,323	2,147	1,936	1,893	1,005
外国産木材	1,189	1,772	1,171	1,340	1,627
総数	4,644	4,192	3,642	3,572	2,927
前年比		-10%	-13%	-2%	-18%

単位：m³ 区市町村 木材使用量推移（過去5か年）



過去5年間にわたり、木材使用量は毎年減少しており、令和5年度は前年度に比べ約18%減少、令和元年度と比較すると約37%減少しています。

令和5年度の木材使用量を種別に見ると、多摩産材は前年比約10%減少、国産木材は約47%と大幅に減少した一方、外国産木材は前年度に比べ約21%増加しました。

今後は毎年減少している多摩産材をはじめとする国産木材の利用促進をお願いします。

今回の調査では、都内62自治体のうち50自治体に木材使用実績があり、そのうち森林環境譲与税を充当した自治体数は19自治体で割合は38%でした。木材の使用に森林環境譲与税を利用することは法の目的にかなうものです。是非、多くの自治体が木材利用にご活用くださるようお願いいたします。

今回の調査にご協力をいただきました皆様にお礼申し上げます。

(4) JAPAN ReWOODの様子

8月17日(土)と18日(日)の2日間、東京ビッグサイトでWOOD COLLECTION 2024「JAPAN ReWOOD」が開催されました。その様子をご紹介します。

今回の企画展示では木を「育む」「伐る」「挽く」「組む」「創る」の5つのエリアに分かれ、ワークショップを通じ川上から川下までの木や森に関わることについて、多くの親子が楽しみながら学ぶことが出来、木に対する理解を深める貴重な時間が過ごせました。展示、物販のブースでは、家具、生活雑貨、木製玩具、キッチン用品などが所せましと並び、木製遊具や楽器などを自由に触れることができ、多くの子供たちが楽しそうに遊んでいました。また、屋外では立木伐採や伐木技能を競うチャンピオンシップ、チェーンソーアートの迫力のある実演が行われました。

今回ご来場できなかった皆様、来年はぜひ足をお運びください。

※イベントの様子はアーカイブで公開されています。

→ <https://www.rewood-collection.com/>



会場では5つのエリアでワークショップを体験



親子連れで賑わう「MOCTION」「MOKUNAVI」のブース



伐木の技能を競うチャンピオンシップ



子供たちとつくった森林環境税ラップを披露



組むエリアの木製遊具で遊ぶ子供たち



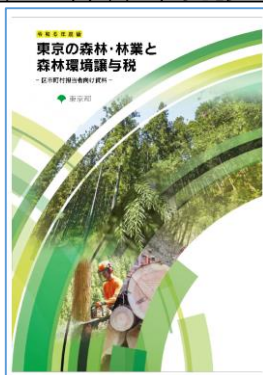
「東京都の森林・林業紹介」のブース



多摩産材で作られた製品の展示

(5) 東京の森林・林業と森林環境譲与税(令和6年度版)をホームページに掲載

前号でご案内しました「令和6年度版 東京の森林・林業と森林環境譲与税」を、東京都産業労働局のホームページに掲載しましたのでお知らせします。PDFデータでご覧いただけますのでご利用ください。



【産業労働局ホームページ URL】

<https://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.lg.jp/nourin/ringyou/project/kankyozei/index.html>



(6) MOCTION 企画展示

木材の大消費地である東京でのさらなる木材利用の拡大に向け、国産木材の魅力を発信する拠点「MOCTION（モクション）」。

一定期間ごとに、全国各地の木材製品の展示が行われています。

7月4日～7月16日 鳥取県



木育玩具やインテリア小物、御朱印帳などのグッズが並ぶ。木製ガチャ、木製キッチンや木のBUSは子供たちが楽しく遊べる。また、目を惹いたのはCLTで作られたNsauna(サウナ)。利用してみたい！

7月18日～7月30日 大阪府



住宅用材として使用できない、根本や先端部の林地残材を使った家具・玩具を展示。他に、0.2mmの厚みにスライスした突板(つきいた)を展示。内装木質化における不燃材として使われている。

8/29～9/10は山梨県、9/12～10/8は愛知県の企画展示となります。ご来場をお待ちしています！

ちょこっとコラム (ご存知でしたか?こんなこと)

“日本全国の人工林の半数が林齢50年を超え高齢化が目立っていますが、東京都の場合、林齢50年未満と51年以上に分けると、2022年での面積比は次のどれに近いですか?”

① 1 : 1 ② 1 : 2 ③ 1 : 3 ④ 1 : 4

東京都の人工林のうち林齢51年以上は約24,400ha(80%)で、50年以下は約5,930ha(20%)となっています。(2022年)。正解は1:4です。林齢50年になると立木が利用に適した大きさとなり、主伐の対象になります。また、林齢50年から60年を超えると、二酸化炭素の吸収量は大幅に減少します。これにより、伐採と再植林を行い、人工林の若返りを進めることが重要であることが示されます。

「WOOD LETTER Moku推し (ウッドレター モクオシ) 令和6年8月vol.50」

〒163-8001 東京都新宿区西新宿二丁目8番1号 東京都庁第一庁舎21階中央
東京都産業労働局農林水産部森林課 森づくり推進担当
Tel.03(5000)7198(直通) 担当:荒川、伊藤、小山、中田、中村

森林環境譲与税はもとより、多摩産材の利用等東京の森林・林業に関することにつきましてもお気軽にお問合せください。